

### 藤崎町老連世代間交流事業

#### 一緒に楽しんだ「遊びランドと音の遊び」

藤崎小学校一・二年生

藤崎小学校二年生

2月22日(金)藤崎小学校2年生(2クラス40名)が手作りの遊びを紹介し、児童と一緒に遊ぶ学校からの招待に老人クラブ会員27名が参加した。

昨年度「昔の遊び交流会」で、づくり・お手玉など6種目、伝統の遊びを教えたお礼によるものです。

#### はじめに

館山新一町老連会長が招待された会員を紹介した後、代表児童が「ようこそ「遊びランド」へ。今日は、ぼくたちわたしたちといっしょに楽しんでください!!」と、あいさつした。

#### ○遊びの種目

下記の8種目を、楽しいペットボトルわなげを設けて実施した。

#### ○活動開始

児童が、案内係りと遊びの係りに分かれて交代で活動。(前半15分・後半15分)

【的あて】は、簡単なようでなかなか入らず難しくて楽しかった。

【魚つり】では、折り紙のいろんな色で魚を上手に作っていた。

子供達の「やさしい心」が、同じ遊びでも難しいもの・簡単なもの、難易両方あったり上手に工夫して作っていた。

#### ○おわりに

児童代表お礼の言葉 今日はいっしょにあそんでくれてありがとうございます!!また遊びに来てください!!  
・木村美智子老連副会長から感想を述べた。  
・児童からプレゼント



開会式で、おもてなしの言葉を受ける

①	わくわくゴルフ
②	楽しいペットボトルわなげ
③	にこにこくじ
④	つれるぞ!!魚つり
⑤	どうぶつまとめて
⑥	スペシャルふくわらい
⑦	げん気もりもりもぐらたたき
⑧	的あて

発行者  
藤崎町老人クラブ連合会  
広報委員会  
藤崎老人福祉センター内  
電話 七五―三三三二

参加者全員に、折り紙で作ったメダルのプレゼントを首にかけてくれた。  
会員達も昔遊んだことがあり、懐かしさを思い起こし、夢中になって一緒に楽しんだ。



【ペットボトル輪投げ】を楽しむ会員

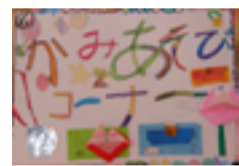


【にこにこくじ】を引く

#### 二「昔の遊び」

2月13日(水)藤崎小学校1年生(2クラス39名)が「昔の遊び」を体験しました。今回は、写真で紹介します。種目は次の写真の通りです。

藤崎小学校一年生



支援者からお手玉の遊び方を聞く



あやとりは、色々な形が変わり、興味を持って取り組んだ



手を繋いで体育館へ向かう



づくりは、縄の巻き方が難しく支援者が巻き方を手に取って教えていた。投げる時の縄の引き方が難しい様だった。



けん玉は玉を上にあげる高さ、玉を受ける手の位置を合わせるのが難しく苦労していた。皿に上がると歓声を上げて喜んでた。

### ◆町老連理事会のお知らせ◆

単位老人クラブ会長・専門部長  
広報委員長・若手委員長・女性部長 各位  
老連会長 館山 新一

一、日時 4月15日(月) 午前10時

二、場所 藤崎老人福祉センター 集会室

#### 三、案件

- 平成30年度事業報告・収支決算について
- 平成31年度事業計画案・収支予算案について
- 役員改選について
- 平成31年度補助金等申請書・平成30年度実績報告書の提出について
- その他

#### 四、お願い

会長・部長・委員長が欠席する場合、必ず代理の役員等を出席させて下さるようお願いいたします。

### 町老連定時総会のお知らせ

単位老人クラブ会長・専門部長・  
広報委員長・若手委員長・女性部長 各位  
老連会長 館山 新一

一、日時 4月26日(金) 受付 10時~10時30分  
総会開始 10時30分

二、場所 藤崎町文化センター 多目的ホール

#### 三、案件

- 平成30年度事業報告・収支決算について
- 平成31年度事業計画案・収支予算案について
- 役員改選について
- その他

四、参集範囲 各単位クラブ3名以内、専門部3名以内、広報委員3名、女性部5名、若手委員9名

五、参加費 1名 一、〇〇〇円(当日集金)

六、申込み 各単位クラブには「白寿4月号」に申込書を同封し、専門部・女性部には別途届けます。

※4月15日(月)理事会迄に左記申込先へ提出して下さい。(電話での申込は受付しません)

藤崎老人福祉センター FAX 七五―二二二八  
常盤老人福祉センター FAX 六九―五二六二

### 振り込め詐欺に注意

静岡県老連からの情報によると、単位クラブ会長宛に、老人クラブをかたる「災害義援金のご協力 緊急のお願い」の文書と日本赤十字社宛の「郵便振替用紙」が同封されていました。文書及び封筒には差出人の記載はなく、「日本赤十字社」においても緊急のお願いを出していないと確認を取っています、とのこと。振替用紙に記入されている「口座記号及び口座番号」は日本赤十字社のものとは全く違っています。もしも、このような文書及び振替用紙が送られてきた場合には、藤崎老人福祉センターや警察・消費生活センターにお知らせ下さい。 ☎七五―三三三二(西豊田温泉)

4月行事予定表			
日	曜	行 事	時刻
1	月	芸能部	12:00
2	火	日本舞踊部 囲碁・将棋部	12:00 12:30
3	水	女性部	10:00
4	木	囲碁・将棋部	12:30
5	金	役員会 芸能部	10:00 12:00
6	土		
7	日		
8	月	生け花部 ふじ健大OB会	10:30 13:00
9	火	日本舞踊部	12:00
10	水	茶道部 菊花部	13:00 13:00
11	木	囲碁・将棋部	12:30
12	金	芸能部	12:00
13	土		
14	日		
15	月	老連理事会	10:00
16	火	日本舞踊部 囲碁・将棋部	12:00 12:30
17	水		
18	木	広報委員会	13:30
19	金	Gゴルフ部総会 芸能部	10:00 12:00
20	土		
21	日		
22	月	生け花部 芸能部	10:30 12:00
23	火	日本舞踊部 囲碁・将棋部	12:00 12:30
24	水	茶道部 菊花部	13:00 13:00
25	木	囲碁・将棋部	12:30
26	金	老連定時総会(文化センター) 芸能部	10:30 12:00
27	土	【白寿】配布日	10時以降
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火	退位の日	

### 女性部便り 女性部軽スポーツ講習会に参加して

先日、女性部軽スポーツ教室でユニカールとペタンクに挑戦しました。  
あまりスポーツは得意ではなかったのですが、マツ！大したことはないだろうと軽い気持ちでした。町の熟手達50人ほど集まっておりました。

#### ○ユニカール

オリンピックのテレビで見た「カーリング」と殆ど同じルールと聞いていたので、たいしたことはないと思っていましたが、カーリングとは違いストーンを持ち上げ、投げて滑らせるので、ストーンは3kgもありワア重い、これを転がすの…力を入れ過ぎればサークルから外れる。力を抜くとサークルの中へ入らない。思い通りになかなか出来ず、相手チームのうまさを感じました。

この競技の発祥地はスウェーデンのヨーテボリ市で、高齢者の方でも楽しめるスポーツです。

#### ○ペタンク

発祥地は一九一〇年に南フランスで生まれたもので、ユニカールと同様のルールで、先攻の投げた黄色の小さな玉の近くに自分のボールを近づければいいわけですが、このボールも八〇〇gもあり、ずっしりと手ごたえがあります。

この競技も全く自分の思う反対の方向に転がって行きます。ヨシヨシとかヤッターとか声をあげながら2時間楽しめました。

ひよっとして筋肉痛になるかも知れないと、温泉に入り疲れた手と足を揉みほぐしましたが、二日後、ウソ腕が痛いぞ、腰も、足も、これってユニカールのせい…！情けないなあ。普段からもっと筋肉を鍛えなければと反省しました。  
もし、これからもこのようなイベントがあるのなら、「スポーツ吹き矢」をやってみてみたいと思います。



### 藤崎町に伝わる昔話と伝説(27)

#### 沢成己之助大蛇を殺す

鈴木政四郎

昔、水木に与助と云う人が住んでいた。その人は山歩きが好きで山を歩く事を常に楽しみとしていた。  
或る日、山に昔とりに行った。その日は運よく座りながらにして籠一つに満ちた。そこで早めに帰宅した。  
婆さんは、爺さま、今日めつたに早いで、昔何も無くてあったべ。いやあつてあつて籠一杯で早いで帰ったんだね。それはよかつたな、明日また行けばいいね。次

の日、爺さま、籠を背負い昨日の所まで来て見たが、茸一枚も生えていない。どうしたんだらう。これはきつと狐の仕業に違いない、と考えている所へ、遠くの方から足駄を履いて此ちらへ歩いて来る女がいた。あのつぼけ(野郎)だな…茸なくしたのは。こんな山奥に女がいる筈がない。狐に相異なる、一層の事殺してしまおうと思っている所へ、爺様、爺様、と声を掛けられると、男として満更悪い気持ちはしない。今迄、怒っていた顔が柔らいで、何んですばと云った。姉さまの言うには、私は山奥に住んでいる一人者だとも、どうも突然、失礼であります。私に度胸のよい婿を、一人世話して下さらないでしょうかと云われ、願いをいやと断る訳にいかず、世話しようと思事してしまつた。すると、これ少しだども…と差出したものは千両箱。驚いたがそれを手にした爺さま、喜び勇んで帰宅したが、自分の心にとつては半喜、半苦、顔色が変わつて来た。それを見た婆さま、爺さま何程顔色青いば、体でも悪くてらだな。いや何んも悪いわげでねや!!と、山での出来事を残らず話した。それだきや何んでもねことだば!!久井名館の丑之助とやればいいね。うんそうしようよと次の日、久井名館の丑之助を連れて行くと、姉こ非常に喜んで、よく世話してくれたと座敷に上げ大変な御馳走になり、帰りにまた、千両箱一つ背負わされた。一方、丑之助、夜になると姉こ一人で飯の仕度をしたのを一緒に食べると、姉こ後を片付けてがたがた二階へ上つてしまつた。一人丑之助が下に寝ていた。静かな夜である。刻々と時刻は過ぎ草木も眠る丑三つ時(午前二時)突然、西の方から黒雲が渦巻き飛来し、光り雨降る。ごろごろ、ぴかっ!!とどしんと落下の音。その音で目を覚ました丑之助、あまりの怖さに、布団を頭から冠り丹前の袖より、少し目だけ出して見ていた。一晩中まんじりともせぬうちに、朝と云つた。鶏声が聞こえ始める頃となると、その騒しさが一瞬にして消え、まるで夢の如くである。朝になると姉こは二階から下りて来て、一緒に朝飯を食べたが、丑之助が夕べの事が気懸りで、ついその事を口にした。すると姉こ、そう怖くて務まらぬなら、暇をやるから家に帰りなさい。しかし困つたとして、誰にも何んにも言わないで下さいと、繰り返しお願いをした。丑之助は帰って見たものゝ親に合はず顔なく、久井名館に帰らず与助の所へ…爺さまは帰つて来た丑之助を見て、おれ!!丑之助お前と云、山の姉こさく来てやつたんだだけさ、どうして帰つて来たば、と叱つたが無言のまゝうつむいてる。

びんと立てた、一見強そうに見える沢成己之助と言う若者が一人、酒を飲んで来た。そこへ爺さまが近づいて、若旦那様お前婿に行かねが。うん良い所があれば行つてもいい。良い所にも悪い所にも姉様一人ださね。それならと云う事で話が纏まり、沢成己之助を連れて山の姉この所へ置いて来た。夜になると丑之助がいた時と同じ様に飯が終ると姉こ、二階に上つてしまひ、下に己之助一人寝ていた。それで夜半、鳴る光る雨降るで、家が今にも壊れそうであつたが、己之助は平気で寝ていた。そして朝飯を終り、己之助と姉こは雑談に入り、夕べの事の話が出たが、己之助は一向気に懸けていない風である。そこで姉こは度胸を見抜いて、しからばと心に秘める怪談を話した。それは、この家の後方に大きな池があつて、その池の中に、一本の大きな柳がある。これは、何百年経つたか知れぬ老木。その上には、体を七廻り半のヒソを巻いて寝こんでいる一匹の大蛇がいて、一人者の私を、夜な夜なこの家の廻りに来て、あの様な光る鳴るの仕業をします。私は、この大蛇に食われるのが辛くて、困っていました。如何せん女の身なれば退治する事も出来ないで、どうか、あの木の上にいる大蛇を退治してもらえないでしょうか。よききた、と己之助は言つて大きな鏡を持って来て、朝から研ぎ始めたのも早いこと、昼過ぎやつと研ぎ終つた。その切れ味といったら鏡でヒゲが剃れる位になつた。ようしと梯子を柳の木にかけ、登つて見ると案の定、大きな大蛇が、七廻り半のヒソ巻いて、此処は我が天下という恰好で、ぐうぐうと鼻をかき寝ていた。それを見るや否や、大蛇の脳天めがけて一打、ギヤア!!と唸つたかと思つた。池の中に真逆さま、その池の水は忽ち赤血水となり変わった。そして梯子を下りようとする、空に白衣を着て舞上つて行く女の姿。それは正しく姉こではないか、夢ではないかと己之助は急いで家の中に入つて見ると、姉この姿はなく、七枚の膳に金が山程積まれた所に一通の手紙。中を開いて見ると、私は金の親で御座居ます。私は、今迄持っている金のため、蛇が主となるには金を敷いて寝るのださうです。その為、私は幾度か襲われましたが、今日、貴方に退治致してもらつた御陰で、天に帰る事が出来ました事を、心から感謝致します。この御恩は、決して忘れません。亦、貴方の御健闘と御成功を末長く天上より御祈り申し上げます。金の親より…とあつた。

そこで早速、家と金とを、山奥から四頭の馬で十日もかけて運び、大きな家を黒石町に建て、居住した。その恵みあらたかに栄える事長年、今の黒石市沢成家が、その子孫だと言ひ伝えられている。  
出典…鈴木政四郎著「津軽むがしこ」  
第48講「己之助大蛇を殺す」を参考・引用し、読み易くしたものです。  
鈴木政四郎氏：昭和の合併後の旧常盤村史の執筆委員で、藤崎町水木出身の郷土史家

### ◆ 歯なしの話 85 ◆

佐藤 透

「至福の一杯」  
わが家では1日3〜4杯のお茶を飲む。  
最近では九州(鹿児島県の知覧・霧島、佐賀県の嬉野)が多いのだが、時によつてまちまちである。たまに玄米茶やそば茶も頂く。  
どちらかというと、緑茶は朝に多く飲む。家内の入るのを見ていると時間に余裕をもつて、じっくり入れると美味しい様である。

更に夕食後には、ほぼ毎日の様にコーヒーを飲む。私がコーヒーミルで豆をガリガリしているうちに、家内が甘いものを用意する。そうこうしている内にお湯が沸騰してくる。  
これも緑茶と同じで、じっくりに入れると美味しい様である。最近では、最初にお湯を注ぐ時にコーヒーをむらす事をする。そうした後で更にお湯を入れるとまろやかな味になる(とTVで言っていた)。  
コーヒーの独特な香りと喉ごしが、1日が終わりであると感じさせるのである。

時々、お茶もコーヒーも飲みたい時がある。(体調かどうかは不明である) そう言う時はわが家では紅茶を頂いている。特に銘柄にはこだわらないが、ダージリだったたりアールグレイだったりである。  
嗜好品であるとは言ふものの、一杯のドリンクがホッとした一時を与えてくれ、安らぎを覚えさせるのである。

※追伸 私のオジで佐藤剛也が藤崎小学校の同級生とコンタクトを取りたいそうです。  
昭和9年生まれ 成年  
現住所は…東京都 北区在住  
連絡先…ときわさどう歯科医院 六六五〇四〇六〇

### ◇◇ 川柳 ◇◇

東風吹いて今年の畑に鋤入れる  
小笠原みなえ  
廃校の桜吹雪は誰も見ず  
野呂 文坊  
横文字のメニューいろいろ舌もつれ  
佐々木トミエ  
つりあげた小魚今やトドに似て  
木村 羊川  
何度チンしても戻らぬ冷めた恋  
清水 川魚